

令和6年度 第1回苫小牧港港湾脱炭素化推進協議会

議事概要

(令和7年1月16日(木) 14:00~16:00)

構成員等からの情報提供

- 北海道電力株式会社より「北海道苫小牧地域を拠点としたアンモニアサプライチェーン構築について」、これまでの検討の過程や将来構想等の情報提供があった。
- 石油資源開発株式会社より「先進的 CCS 事業について」、これまでの検討の過程や将来構想等の情報提供があった。
- 出光興産株式会社より「苫小牧における合成燃料製造について」、これまでの検討の過程や将来構想、船舶燃料としてメタノールの利用等の情報提供があった。
- JOGMEC より「浮屋根式原油タンクを MCH 貯蔵に転用するための調査について」、調査概要や結果の共有に加えて備蓄基地の活用等に関する情報提供があった。
- 札幌市より、「札幌市における水素普及に向けた取組について」、水素ステーション等の情報提供があった。

今後の進め方

- 最後に事務局より、今後の進め方について、苫小牧港港湾脱炭素化推進計画の目標達成に向け、来年度以降も引き続き民間事業者様にご協力いただきながら取り組んでいくこと、また計画改定の可能性も視野に入れながら協議会の開催を検討していく旨を説明した。

主な意見・コメント

- 産業界では本日紹介のあった取組検討が進んでいるが、モビリティ等の民生需要を含めた次世代エネルギーの需要開拓が重要ではないか。
- 港湾をフィールドとした次世代エネルギーの需要を考えていくことが重要ではないか。